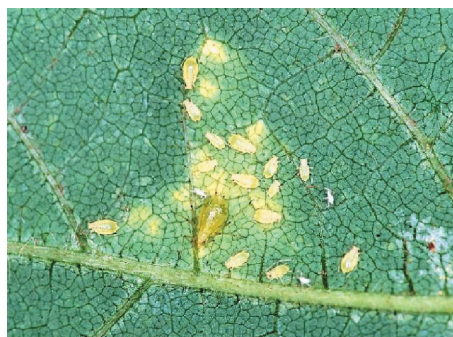


ジャガイモヒゲナガアブラムシに対する高 CO₂ の影響

(本文 11 ページ参照)



① ジャガイモヒゲナガアブラムシ無翅胎生雌虫



T201 350ppm

T201 550ppm



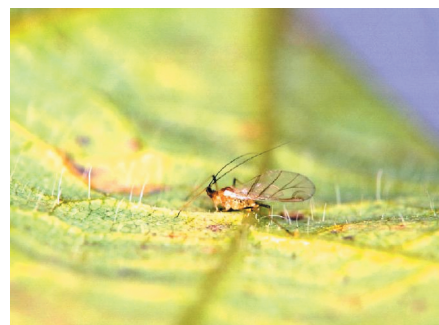
T202 350ppm

T202 550ppm



② 右：2003 年のダイズ生育状況

左は根粒菌を持たない T201 系統，右は根粒菌を持つ T202 系統。上は通常の CO₂ 濃度区 (350ppm) 下は高濃度に CO₂ を放出させた区 (550ppm)。



③ ジャガイモヒゲナガアブラムシ有翅胎生雌虫

④ 左：2004 年のダイズ生育状況

左は根粒菌を持たない T201 系統で，右の T202 系統に比べて葉色が淡い。

榎原充隆氏原図

植食性昆虫の出現期と寄主植物のフェノロジーとの同時性 —タマバエの野外調査から見た同時性のずれとその影響—

(本文 21 ページ参照)



A



B

シロダモタマバエの虫えい (A) とシロダモの新芽に産卵中の♀ (B)。

湯川 (2010) より転載，湯川淳一氏原図

キュウリホモプシス根腐病抵抗性台木の検索と台木適性

(本文 50 ページ参照)



①収穫初期の萎凋症状（7月）



②萎凋株の枯死（9月）



③偽子座（*Pseudostromata*：黒変部位）が形成された被害株の根

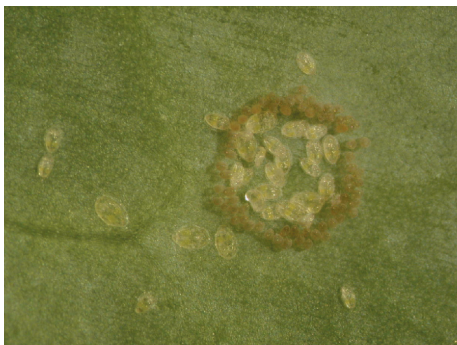
④ホモプシス根腐病抵抗性検定試験における根の褐変程度
 (A) キュウリ・夏ばやし（無接種）、(B) キュウリ・夏ばやし（接種）、(C) マクワウリ・南部金マクワ（接種）、(D) 雑種カボチャ・新土佐（接種）、(E) クロダネカボチャ・クロダネ（接種）、(F) トウガン・長トウガン（接種）

岩館 康哉氏原図



タバココナジラミのバイオタイプ B と Q における寄主範囲および発育特性の比較

(本文 56 ページ参照)



①サークル状に産み付けられた卵およびふ化した幼虫



②累代飼育しているタバココナジラミ

卵、1～4 齢幼虫、成虫および羽化後の抜け殻が確認できる

飯田 博之氏原図